

令和6年度 産業建設部 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
産業建設部 部長 岡 洋介 参与 澳本裕輔 	●使命 私たち産業建設部は、安全・安心に生活できる住環境の整備を積極的に進め、インフラ施設の充実・長寿命化を図ることで、災害に強いまちづくりを目指します。また、農業や漁業を持続的に取り組む事ができる基盤作りを進めるとともに、地域の活力ある発展に向け、企業誘致や中小企業の振興等により、地域産業の活性化を進めます。併せて、観光振興事業や文化財の保存・活用を推進し、市の魅力の発信、交流人口の増加を図り、地域の持続的な発展を促進します。 ●基本方針 ①国土強靱化地域計画に基づき、建設課で実施する事業に加え、他部署の事業も分任として受け入れ、市内の住環境整備を促進します。 ②個別施設の長寿命化計画に基づき、インフラ施設の維持管理に加え、市民生活の向上に繋がる事業を積極的に行います。 ③農業資源の質的向上を図るため、農道、用水路、ため池等農業用施設の適正な維持と保全に努めます。 ④市有建築物の品質確保を図り、質の高い建築物の整備に努めます。 ⑤市営住宅長寿命化計画に基づき、再整備や修繕を計画的に進めます。 ⑥耕作放棄地対策や担い手確保等の事業に取り組み、農林水産業の活性化を進め、併せて、有害鳥獣対策事業を推進します。 ⑦地域産業の担い手である市内の小規模事業者や中小企業者のための振興対策を推進します。 ⑧企業誘致を促進し、第2宮下産業団地の事業を推進します。 ⑨観光振興事業を推進し、市の魅力発信と交流人口の増加を図ります。 ⑩文化財の保存と活用の推進を図るとともに、優れた文化芸術に触れる機会を提供し、市民の文化芸術活動を支援します。	所管課	建設課・建築住宅課・産業振興課・文化観光課（備前長船刀剣博物館、瀬戸内市立美術館）		
		人 員	正職員	会計年度 任用職員	合計
			42人	22人 (非常勤特別職含)	64人
		一般会計	4,611,809 千円		
		特別会計	776,277 千円		
		計	5,388,086 千円		
		(うち人件費)	(396,640 千円)		

重点項目		内容	成果目標	進捗状況（1 月末）
1	国土強靱化地域計画に基づくハード整備の実施	市道開田線は令和3年度に工事着手し令和6年度完成に向け全体事業費の59%の発注を終えています。	市道開田線の橋梁工事を進め、令和6年度の完成を目指します。	カルバート工事及び橋梁上部工事を発注し、進捗状況は91%です。
2	長寿命化計画に基づくインフラ施設等の整備	地域の活動や市民の生活に最も密着する生活道路の維持補修や改修整備など促進し、安心安全な地域づくりを推進していきます。また、まちづくりに必要な道路の整備を進めます。	生活道路維持補修等では、要望書や通報に基づき迅速な対応を行い、対応率70%以上を目指します。	要望件数931件に対して696件対応し、実施率75%です。
3	農業用施設の適切な維持管理	農地の維持や農地・水路・農道等の維持補修や改修整備など促進し、安心安全な地域づくりを進めます。 防災重点農業用ため池のハード対策は県が主体的となり実施し、市は地元調整に協力します。ソフト対策は市が主体的に進めます。	農業用施設維持補修等では、要望書や通報に基づき迅速な対応を行い、対応率70%以上を目指します。 ソフト施策として、ため池ハザードマップの整備を26池実施します。	要望件数448件に対して312件対応し、実施率70%です。 18池のハザードマップ整備を発注済です。1池当たりの作成単価が上がったため、26池から18池に変更になりました。 18池のハザードマップ整備を作成し、ワークショップ（地元への説明）による修正をして年度内には完成します。（現在ワークショップが11/18池完了）

重点項目		内容	成果目標	進捗状況（1 月末）
4	質の高い公共施設の供給	市の重要な建築案件について、担当課から分任を受けることにより、設計・委託・工事発注から現場監理・設計変更・完成まで一括して行い、建築物の品質管理を図ります。 その他建築物の改修、修繕工事等について、担当課に対し技術的な支援を行います。	分任先と連携し、品質、工期、コストが適切なものとなるよう管理します。 分任事業 13 件、支援事業 18 件を実施します。	分任事業は 9 月末と同様に 14 件のうち、8 件完了しました。支援事業は 7 件追加で 27 件となりましたが、原課と連携し順調に進捗しています。
5	市営住宅の再整備	市営住宅長寿命計画を基に、計画的な修繕や建替事業を推進します。	邑久地区建替集約化について、令和 10 年度完成を目指し、設計・工事を実施します。	市営住宅の橋梁工事の受注者が決定しました。造成設計は完了し、工事発注の準備中です。

重点項目		内容	成果目標	進捗状況（1 月末）
6	農林水産業の活性化と有害鳥獣対策事業の推進	農業振興地域整備計画の総合見直しを実施します。	基礎調査を実施します。	総合見直しに関する契約を締結し、提供資料を基に土地利用状況の調査を行っています。今後は、衛星写真調査を行い、現地確認を実施します。
		地域計画を策定し、担い手への農地集積を推進します。	市内 3 地区（呂久、長船、牛窓）の地域計画の策定により、更なる担い手への農地集積・集約、農地の維持管理の取組等を推進します。	市内 3 地区（牛窓、呂久、長船）について、地域の担い手等が参加のもと地域計画の策定に向けた話し合いを実施しました。今後、話し合いの結果を踏まえた地域計画を作成し、公告等の事務を進めていきます。
		森林環境贈与税を財源として適切な森林経営管理を推進します。	食のしあわせプロジェクトの取組として、環境負荷を低減した栽培技術の推進、小中学校等での出前授業、農業体験を実施します。	セミナーや研修会の開催、実証試験による環境負荷を低減した栽培技術の推進を図り、学校園の給食への地場産物の納入量増加に向けて取り組んでいます。 出前授業については、小学校 3 校で 9 回、保育園 2 園で 3 回、農業体験は小学校 2 校で 6 回実施しました。また、今後も出前事業等の実施を予定（小学校 1 校）しています。
		水産業の経営・構造改善等を推進します。	森林環境贈与税を財源とした今後の事業運営について長期的な計画を作成します。市が管理する森林の整備を行うことにより、森林の持つ公益的機能の普及啓発を図ります。 水産業競争力強化緊急施設整備事業を活用し、呂久町漁協荷捌き施設の整備を行います。 利子補給制度等の適正な執行により、漁業者の支援を行います。	森林環境譲与税を財源とした、ナラ枯れ防除対策補助金制度の整備を完了し、1 月末時点で 1 件補助金交付を完了しました。今後も、森林環境譲与税の用途について検討を重ねていきます。 呂久町漁協荷捌き施設の整備については、2 月末に実施設計及び地盤改良工事の完了検査を行う予定です。今後は、Ⅱ期工事として、3 月に工事監理、4 月に本体工事の入札を行います。 利子補給制度については、各漁協より要望を受け付け、適正に執行しました。 1 月末時点 38 件（内新規申請 4 件）

重点項目		内容	成果目標	進捗状況（1 月末）
6		有害鳥獣による農作物への被害を抑制するため、対策事業を積極的に推進します。	総合的な被害対策（自己防衛・環境管理・捕獲）事業を推進します 個別柵 120 件 集落柵 2 件 駆除捕獲頭数 700 頭 集落ぐるみで行う被害防止対策を推進します 鳥獣被害に強い集落づくり支援事業 3 地区 広報掲載 2 回 セミナー参加者 150名	総合的な被害対策（自己防衛・環境管理・捕獲）事業を推進しています。 個別柵申請件数 104 件 集落柵申請件数 0 件 駆除捕獲頭数 1,094 頭 鳥獣被害に強い集落づくり支援事業 2 地区 有害鳥獣関係広報掲載 3 回 有害鳥獣対策セミナー開催済 1/31（金）ゆめトピア長船 参加者数 58 名
7	地域産業の振興対策の推進	地域産業の担い手である市内小規模事業者、中小企業者の振興対策を推進し、併せて創業者の支援を推進します。また、市内で新たに事業所を開設する事業者や再投資を行う既存事業者を支援し、地域産業の振興と雇用の増大を図ります。	創業支援等事業計画に基づき創業支援を実施します。 ・創業塾受講者数 20人 ・創業奨励金交付者数 8人 利子補給制度等の適正な執行による中小企業の支援を行います。 地域ビジネス支援センター（仮称）の整備に向けて建物の設計等を進めます。	11 月から 12 月にかけて創業塾を開催し、14 名が修了されました。創業奨励金は、4 名に交付しました。 中小企業活性化資金利子補給制度について、活用申請があった 3 事業者に対して、審査の上、その適格者に認定しました。 施設の建設に向けて、建物等の実施設計を進めています。また、着工前に必要な埋蔵文化財及び隣接家屋の調査業務を発注しました。

重点項目		内容	成果目標	進捗状況（1 月末）
8	第 2 宮下産業団地の事業の推進	第 2 宮下産業団地の整備を早期に完了し、進出企業へ売り渡します。	造成工事を 8 月末までに完了し、1 2 月末までに進出企業との土地売買契約を締結します。	12 月中にアイリスオーヤマ株式会社と土地売買契約を締結し、産業団地用地を引き渡しました。
	観光振興事業の推進	瀬戸内市道の駅における経営の収益の改善を図るとともに、賑わいの創出を図ります。 備前市と連携し、本市を代表する伝統工芸美術品である焼き物と日本刀の欧米を中心とした海外での認知度向上や需要の開拓を図ります。	瀬戸内市道の駅経営改善計画を策定し、経営の立て直しを行います。また、経営改善計画を踏まえ、道の駅再整備構想の見直しの検討を行います。 海外でのマーケティング調査等を行い、伝統工芸美術品の魅力発信や販路拡大を担う地域商社の設立を検討します。	指定管理者が示した経営改善計画をもとに、整備を進めていた道の駅黒井山グリーンパークの苺狩り施設や牡蠣等を提供する飲食施設が 1 月から営業を開始しました。1 月の来訪者と売上は、前年同月比で 144%、172%と、賑わいが創出され、経営改善に向けて前進しています。 海外で備前焼や虫明焼の認知度向上や販売促進を図る展覧会を 9 回実施しました。そのうち刀剣を含めたものをパリで 1 回行い、フランスの企業や富裕層向け旅行業者、ギャラリーが高い関心を示し、購入や誘客などの話が進んでいます。また、備前焼や虫明焼、刀剣の販売促進を目指し、新たな商品開発等を大学と連携して進めています。
9				

重点項目		内容	成果目標	進捗状況（1月末）
10	文化財の保存・活用の推進と優れた文化芸術の提供、及び文化芸術活動への支援	歴史まちづくり財団、図書館及び公民館等と連携し、文化財の調査や普及啓発活動を行い、文化財の保存・活用の推進を図ります。	文化財調査の実施 1 件 文化財普及啓発事業の参加者数 500 人	12月から地域住民等の協力を得て踏査を7回行い、新たに古墳などを確認しました。 12月に歴史まちづくり財団と連携して開催した刀剣をテーマにした歴史講演会には150名の参加がありました。 市民図書館と連携し、書道家大原桂南氏の市に寄贈された作品等を展示し、桂南氏を顕彰しました。
		音楽を軸としたコンサート等を開催するとともに、市民に優れた音楽や芸能等の鑑賞や実践の機会を提供する市内団体等を支援することにより、市民等が優れた文化芸術に触れる機会を創出します。	夢二コンクールやスクールコンサートなど芸術文化活動へ参加数 1,500 人	第8回夢二コンクールには、県内外から20名出場者があり、10/19に予選会、11/30に本選を行いました。夢二の詩を通して日本歌曲の美しさを知るなど地域の文化振興が図られました。 スクールコンサートは、25校園で実施し、児童生徒が生音楽に触れる機会となりました。
		備前長船刀剣博物館及び瀬戸内市立美術館において、魅力ある展覧会等を開催し、刀剣や芸術への理解の深化を図ります。	備前長船刀剣博物館の来館者数 38,000 人 瀬戸内市立美術館の来館者数 23,000 人	特別展2回、企画展3回を開催しました。 1月末来館者数 29,726 人 特別展2回、企画展4回を開催しました。 1月末来館者数 31,106 人